

H28年度 武蔵野会法人研修計画

2016/4/19

区分A	研修名称	開催日時	研修内容	テーマ 方法	対象	担当	会場
理念経営	理念A	通年・地区	マイ支援ブックの完成と理念の語り	理念を自分引き寄せる	施設長・管理職	地区長・施設長・研修担当	各地区・施設
	理念B	通年・地区	マイ支援ブックの完成と理念の語り	ワールドカフェ方式	主任係長	各地区・施設	各地区・施設
	理念C	通年・地区	マイ支援ブックの完成と理念の語り	理念を自分引き寄せる	一般職員	地区長・施設長・研修担当	各地区・施設
	理念D	通年・地区	理念の理解の言語化	ワールドカフェ方式	新任採用者	地区長・施設長・研修担当	各地区・施設
	理念E	通年 研修ノート提出	理事長の講話	研修ノート提出	新任採用者	地区長・施設長・研修担当	各地区・施設
権利擁護	虐待防止研修	6月28日	虐待防止について	虐待防止ガイドラインなどを活用して	全職層・職種	練馬地区	えみふる プロジェクト
	虐待防止フォローアップ	1月31日	虐待防止について	フォローアップ	全職層・職種	練馬地区	えみふる プロジェクト
	武蔵野会セミナー	6月25日	虐待防止について	公開セミナー	全職層・職種	八王子地区	えみふる プロジェクト
	HIV啓蒙研修	通年	HIV感染症マニュアル	HIVの福祉問題	全職層・職種	各地区・施設	プロジェクト
経営課題研修	成年後見制度	通年	成年後見制度の理解	成年後見リーフレット	全職層・職種	各地区・施設	リーフレット
	地域定着支援		知的障害者の福祉問題	支援者ネットワークとの連携	役員以上	本部	
	中間的就労支援		生活困窮者への取り組み	はたらきサポートとうきょうとの連携	役員以上	本部	
	生活困窮者問題		生活困窮者自立支援法について	生活困窮者問題	役員以上	本部	
マネジメント研修	リーダーシップ&OJT A	1月	施設長のセルフマネジメント		施設長	葛飾地区	リーフレット
	リーダーシップ&OJT B	1月	課長のセルフマネジメント		課長	本部	多面評価シート
	リーダーシップ&OJT C	1月	係長のセルフマネジメント		係長	各地区・施設	多面評価シート
	リーダーシップ&OJT D	1月	主任のセルフマネジメント		主任	各地区・施設	多面評価シート
ターゲット人事制度	人事制度説明会	4-5月 1H	人事制度の手引き	人事制度と目標管理	新規・中途採用者	地区長・施設長	各地区・施設
	新リーダー	4月	心構えと役割	OJT、声掛け	OJT、声掛け	地区長、施設長	各地区
	新任主任	6月7日・8日 1泊2日 1回 計30h 講義 & 通信課題	「マネジメントの基本」 「マネジメントの役割」 「非営利組織の経営」 「PDR/ラダーシップ」	「マネジメントの基本」 「産能大経営センター通信教材」 「非営利組織の経営」 「PDR/ラダーシップ」	新任主任	本部	産能大経営センター 通信教材 「非営利組織の経営」
	新任係長	4月22日	係長の心構えと役割 部下指導と育成	指導監督業務とリーダーシップ	新任係長	本部	本部
	新任課長	4月26日	課長の心構えと役割 組織マネジメント	セルフマネジメントとサービス管理	新任課長	本部	本部
	新任施設長	4月28日	施設長の心構えと役割 施設経営の基本	ミッションマネジメントと施設経営管理	新任施設長	本部	本部
	施設長	4月20日 6月15日 8月24日 10月19日 12月21日 2月15日	福祉経営マネジメント 福祉障害者支援 中間的就労 生活困窮者支援 他	法人理念 福祉動向 経営マネジメント リスク管理など	施設長	小平 さくら 八王子	小平 さくら 八王子
	課長(新任課長)	通年	インタビュ研修 先駆的事業の視察	レポート報告、ノードアウト研修、台本	課長	本部	本部
	係長(新任係長)	通年	インタビュ研修 先駆的事業の視察	レポート報告、ノードアウト研修、台本	係長	本部	本部
	主任(新任主任)	通年	インタビュ研修 先駆的事業の視察	レポート報告、ノードアウト研修、台本	主任	本部	本部
階層別研修	リーダー	ハイポイントインタビュー	「経験の棚卸し」と伝達		リーダー	地区長・施設長	各地区・施設
	一般職員研修A	ハイポイントインタビュー	「経験の棚卸し」と伝達		2年以上～5年		
	一般職員研修B	図書課題研修	非常組織の経営	ドラッカー ダイアモンド社	6年以上～9年		
	一般職員研修C	図書課題研修	非常組織の経営	ドラッカー ダイアモンド社	10年以上～19年		
	一般職員研修D	図書課題研修	非常組織の経営	ドラッカー ダイアモンド社	20年以上		
	新任フォローアップ	期首(なし) 期中(9-11) 期末(3月)	振り返り	実践の振り返り 目標の設定	新任職員	HOST地区 地区長 各施設	HOST地区 各施設
	新任内定者研修		法人の説明、福祉を目指す思いの確認	KJ法など	採用内定者	研修プロジェクト	
	新任大島宿泊研修	3月22-24日	組織理解 支援者の姿勢・態度	ガイダンス 理念 マナー等	新規採用職員	研修PT	大島地区
	新任研修(中途採用)	5月31日	支援者の姿勢・態度 ふりかえり	ガイダンス 理念 マナー等	中途採用職員 中途6カ月以上	葛飾地区・研修PT	葛飾地区の有無確認
	ワールドカフェ・ファシリテータ養成	通年 3回	ダイアログ研修・理念研修のファシリテーター	ワールドカフェのファシリテータ養成	施設長他ファシリテータ候補者	本部	
BCPマネジメント研修	BCPマネジメント研修	9月1日	提携法人提案事項対応	図上訓練と安否確認システム	BCP推進担当者	御殿場・八王子	さくら学園
	接遇マナーA	通年・地区 最低1回	接遇マナー	図上訓練と安否確認システム	中途 新任	地区長・施設長	各地区・施設
	接遇マナーB	通年・地区 最低1回	接遇マナー 事例検討	図上訓練と安否確認システム	全職層・職種	地区長・施設長	各地区・施設
	接遇マナーC	6月14日	接遇マナー 養成	図上訓練と安否確認システム	全職層・職種	地区長・施設長	各地区・施設
リスク管理	リスクマネジメントA	通年・地区 最低1回	武蔵野会のリスクマネジメント	安全とリスクマネジメントシステム	新人、一般職員	地区長・施設長	各地区・施設
	リスクマネジメントB	通年・地区 最低1回	AKTとリスク感性	リスク感性と報告書	一般職員	地区長・施設長	各地区・施設
	リスクマネジメントC	通年・地区 最低1回	事故分析手法	事故分析と改善手法 SHELL	一般職員	地区長・施設長	各地区・施設
	リスクマネジメントD	6月11日	クレーム対応	クレーム対応	施設長推薦	世田谷地区	九品仏生実
	リスクマネジメントE	11月12日	RMR養成	RMR体制の構築 安全文化の醸成	施設長推薦	世田谷地区	九品仏生実
財務・会計	財務(通信)		自主生産品におけるコンプライアンス	品質管理 商品成分表示 関連法規	施設長推薦	世田谷地区	九品仏生実
	財務(通信)		施設経営分析	施設経営分析	施設長	本部	本部
	財務(通信)		経営指標による分析	労働分配率等の指標による改善	課長・係長	本部	本部
栄養士・看護師・事務職	栄養士	11月22日	栄養士	財務の基礎知識	主任	本部	本部
	看護師	10月25日	施設看護師		看護士	法人栄養士会	文京福祉センター
	事務員研修会	12月6日	事務員		事務員	練馬地区	練馬福祉センター
	職場環境向上		事務員		事務員	本部	本部
職場環境向上研修	ストレスマネジメント		援助職のストレスマネジメント	ストレスマネジメント	全職層・職種	本部	外部機関による
	セクハラ・パワハラ研修		セクハラ・パワハラ等の防止	セクハラ・パワハラ等の防止	各施設より委員	本部	外部機関による
	施設経営・サービス分析	通年	業務評価・分析	第三者視点による経営・サービス分析	施設長	本部	本部
	業務評価スキル研修	通年	法人マネジメントとSV体制の構築	第三者視点による経営・サービス分析	施設長	本部	本部
調査・研究	スーパージョイン研究	通年	社会福祉施設におけるHIV陽性者の受入れ研究	法人マネジメントとSV体制の構築	施設長ほか	本部	本部
	社会福祉施設におけるHIV陽性者の受入れ研究	通年	PT		施設長他	本部	本部
	触法障害者定着支援ネットワーク構築に関する研究	通年	PT		施設長他	本部	本部
	クレーム対応事例集作成	通年	事例集作成	クレーム対応の事例集の作成	施設長他	本部	本部
研修体制構築プロジェクト	通年	法人研修体制の構築研究と提案		法人内役職選抜	本部	本部	
支援実践報告	随時 年1回	支援実践報告	各現場での取り組みを報告		各地区	各地区・施設	
支援実践集	2月提出	支援実践集	各現場での実践報告を冊子にまとめる。		本部・葛飾地区	本部・葛飾地区	

平成28年度の法人研修について

- ・法人研修の目的は、基本理念、福祉の価値・態度やリスクマネジメント、マナー、サービス管理、財務などの福祉経営に関わる内容、その他、組織人としての基礎知識・技能に関する理解と習熟を目標とする。
- ・研修センターの運営並びに研修については、千代田文京地区が調整し、表内各担当が企画、実施する。
- ・施設長研修は施設長会議と同日に年6回行う。4月、6月、8月、10月、12月、2月。
- ・調査研究としてSV研究、HIV受入れ、触法障害者支援ネットワーク、クレーム事例集は継続。研修体制構築プロジェクトは前年度を踏襲しメンバーを再編して実施していく。
- ・専門研修を通じて、強度行動障害、認知症、発達障害などの知識向上に努めること 強度行動障害支援者養成研修の受講を推奨
- ・ダイアログ研修は、昨年参加できなかった本年2年目にあたる職員を対象に理念研修としてワールドカフェ方式で実施する。
- ・虐待防止研修と虐待防止フォローアップ研修は、同じメンバーで1年間の取り組みの立案・振り返りを行う。
- ・新任主任研修は、インボーター養成を目的的に泊の宿泊研修とする。
- ・主任・係長研修は、インタビュ研修として先駆的業務領域での実習とする。
- ・課長研修は、提携法人並びに周辺先駆的業務所への実習とする。